

復興応援団では現在、多賀城市内の各仮設住宅で、呼び鈴の取り付け作業を行っています。多賀城市社会福祉課からの依頼を受け、共立多賀城市と復興応援団が主催して、今後市内六団地全てで呼び鈴を設置していきます。

メンテナンスと復興応援団が主催して、今後市内六団地全てで呼び鈴を設置していきます。

## 仮設住宅で呼び鈴取り付け



仮設住宅での取り付け

復興応援団では単なる作業ではなく、住民の皆さんにも参加して頂くことで、普段あまり接点のない住民の方々の依頼を受け、共立多賀城市社会福祉課からも募集する予定です。



【作業に熱中する住民の皆さん】

現在は、多くの家の軒先に表札が付けられています。それぞれの個性が出た並ぶ様子は、団地内

の皆さんは細かい工程に悪戦苦闘しながらも、会話を交えながら、笑いの絶えない楽しい雰囲気で、作業に熱中しています。「こうやつづくのつていいやつのお母さん」がつぶやいています。

現在は、多くの家の軒先に表札が付けられています。それぞれの個性が出た並ぶ様子は、団地内

の雰囲気をグッと明るくするでしょう。表札ができると、住民が身近に感じられるところで、今まで育んできたつながりはさらに素敵な笑顔の輪になっていくのでしょうか。

## 笑顔広がる表札づくり

### 多賀城市高橋公園仮設住宅で開催

4月22日、多賀城市高橋公園仮設住宅集会所で表札づくりのワークショップが開かれました。講師に塩竈市で活動する「ビルド・フルーガス」の皆さんを迎えて、参加した住民約二十人がオリジナルの表札を作りました。

復興応援団が、高橋公園仮設住宅自治会の皆さんとの「自分たちの手でオリジナルの表札を作りたい」という声を受け開催をお手伝いしました。

表札に使うのは、地元八幡神社のご神木。皆を守ってくれるようにと願いをこめて、津波の被害を受けた倒れたものを利

用しています。震災当時は、神社に逃げ込んで難を逃れた方

に参加していただき、楽しく交流しながら、和気あいあいと表札をつくりました。

もいたそうです。

講師は塩竈でアトリエやワーキングショップを運営するビルト・フルーガスさん。今までの同団地のイベントでも最多という約二十人の住民の方

表札に使うのは、地元八幡神社のご神木。皆を守ってくれるようにと願いをこめて、津波の被害を受けた倒れたものを利

用しています。震災当時は、神社に逃げ込んで難を逃れた方

## 復興応援団とは

復興応援団は、法人復興応援団として、地域活動の目標は、東北が一元化され、各市町村をつなぎ、地域活性化を目指すことです。この目標達成のためには、地域の魅力を活用して、地域のボランティア活動を通じて、地域の魅力を発揮する。また、地域の魅力を活用して、地域のボランティア活動を通じて、地域の魅力を発揮する。また、地域の魅力を活用して、地域のボランティア活動を通じて、地域の魅力を発揮する。

「ボランティア」を実施して、地域のボランティア活動を通じて、地域の魅力を発揮する。また、地域の魅力を活用して、地域のボランティア活動を通じて、地域の魅力を発揮する。

「支え合いネットワーク」づくり事務局では、今後の復興公営住宅の生産性向上をめざして、地域の魅力を活用して、地域のボランティア活動を通じて、地域の魅力を発揮する。また、地域の魅力を活用して、地域のボランティア活動を通じて、地域の魅力を発揮する。



【完成した表札を手に集合写真】

# 復興応援団だより

2012.5.1 / NO.2  
発行元：  
一般社団法人  
復興応援団  
広報チーム  
022-393-9331

# 発見！東北グルメ

**no.】キラキラ丼（南三陸町）**  
南三陸町で、震災前から名物として親しまれたキラキラ丼。地元の新鮮な海産物をふんだんに使い、町内の飲食店がそれぞれオリジナルの味を提供していました。今年二月にオープンした仮設商店街「南三陸志津川福興名店街」をはじめ、震災後商業を再開した9店舗で復活しました。団ツアーボランティアの皆さんにも大人気です。



## 【菊の花束づくり】

—4月29日—29日 南三陸町歌津地区で 農業で被災者雇用応援プロジェクト#5を開催しました。小野花匠園にて、トマトのわき芽を摘み、苗を紐に絡ませる作業と、菊の出荷作業のお手伝いをしました。今日は9名の方にボランティアとして参加して頂きました。—

（西川透・歌津）

# 実りの季節もうすぐ



アの皆さんには、わき芽という余分な枝葉を摘み取る作業と、支柱となる紐に苗を巻きつける作業を、黙々とこなしました。小野花匠園さんは、今後、地元の方の雇用で菊の栽培にも注力するため、なかなか手が回らないトマトの手入れをサポートしました。

南三陸町歌津地区の農家「小野花丘園」さんの事業をお手伝いすることで、地域全体の復興を応援する本プロジェクトも、今回で5回目を迎えました。

いをしてきたトマトの苗は大きく成長しました。トマトの苗は上に伸びながら、一段ずつ順番に花をつけます。現在は三段目の花が咲き、一段目には青々とした実がいくつもでています。四段目の花が咲くと、一段目の花

政道さん(右)とボラン  
加者】

政道さん(右)とボランティア参  
加者】



# PICK UP!

南三陸町の田東山は、毎年5月頃に咲き誇る山つつじで有名です。見ごろは5月中旬から下旬で、多くの観光客でにぎわいます。毎年つづじまつりというお祭りが開催され、地元の方に愛される年中行事となっています。

また、田東山は標高512mと付近の山より高いため、三陸海岸が一望できます。团のツアーバスでも訪れることがあります。参加者の皆さんにも好評です。ぜひお越しください。

A group of people standing on a beach under a cloudy sky.

ノイア参政道さんとの交流もあって、皆さん清々しく楽しそうな表情をさせていました。栽培の過程に関わることでトマトに愛着を感じた方も多いといった上



※ 予定は変更になります。  
ジから。 みは団のホームペー  
ア-を予定していま  
す。 詳細、お申し込  
7月1日の三回のツ  
23日-24日、30日-  
6月9日-10日

今回は、プロジェクト初参加の方が多く、十代までの幅広い年齢層の方に、全国各地から集まつて頂きました。菊の出荷作業では、花束づくりをお手伝いしました。皆さんで作業工程を役割分担しながら、和やかな雰囲気で活動しました。

南三陸ツアーガイド  
5月5日(土)~5月6日(日)に行われます。  
トマトや菊の作業のお手伝いをする予定です。

# 今後の予定